

宇田雄一「古典物理学」

e_{15} の定義: $\forall f \in F_{14}; e_{15}(f) \Leftrightarrow [\text{【1】 or 【2】}]$

【1】 $f \in F_3$ and $e_3(f, Y, 0)$

【2】 $\exists n \in \mathbb{N}; f \in F_{14, n}$ and $e_5(f(\square, \square, \square), f(\square, \square))$

ところで、 $e_3(f, Y, 0)$ の真偽は Y と無関係だから、本書では X や Y について何も断らず、単に $e_3(f, X, 0)$ とか $e_3(f, Y, 0)$ と書くことにした。また、 $Z(N_3) = 0$ のときには $e_1(f, Z, M, m)$ の真偽は m と関係なくなる。この場合には m についての断り書きを省略する。 m の代わりに勝手な文字を用いても良い。 $m(2) = 0$ の場合には、 $e_1(f, Z, 0, m)$ の真偽は Z と無関係になる。このときには Z についての断り書きを省略する。 Z の代わりに勝手な文字を用いても良い。 e_3 はマックスウェル方程式と呼ばれる。